

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	インターンシップ		
英文授業科目名	Internship		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-自由科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名			
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
尾関	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>現場実習によって、生産や技術に関心と興味を深め、将来の技術者・研究者としての心構えと抱負を養う。</p> <p>知識と実際の技術の関連、信頼性と安全性などについて体得するとともに、人的協力の必要性和、自立した技術者・研究者の在り方を考える機会とする。</p> <p>実習を体験して学部教育の意義を一層理解し、卒業後の進路の指針とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

インターンシップは、原則として3年次の夏季休業中に行う。  
期間は、4週間、90時間以上とする。ただし、日数は短縮することがある。

#### 【履修のための準備】

実施は概ね以下の通りに予定しているが、最終的な予定は5月上旬の掲示、および説明会で伝えるので、掲示に注意すること。

- 5月中旬：インターンシップ実施説明会
- 5月末頃：インターンシップ希望票提出締切
- 6月下旬：履修可能学生の決定および実習先の決定
- 7月上旬：「インターンシップ願」の提出
- 7月上旬：実習先企業との連絡、契約などを経て実習予定の決定
- 7月下旬頃から：インターンシップ実施
- 9月末頃：成果報告会
  - 「インターンシップ報告書」
  - 「インターンシップ修了書」の提出締切

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

受講者が作製する「インターンシップ報告書」と受け入れ企業が評価する「インターンシップ修了書」、さらに成果報告会の内容に基づき総合評価する。  
全てを提出し、評価点数が60%を越えれば合格とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

随時相談に対応するが、あらかじめメールなどで連絡すること。  
2008年度のインターンシップの学科内担当は尾関（東6-534室）。

なお、実習先との連絡・調整に関しては、共同研究センターインターンシップ担当者の指示に従って下さい。

共同研究センターインターンシップ担当者：

居室：共同研究センター2階201,

Tel: 0424-43-5723, e-mail: intern@crc.uec.ac.jp

### 【学生へのメッセージ】

インターンシップは企業における技術者の仕事というものを知る貴重な機会であろう。  
ぜひこの機会を活かしてください。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】
なし